福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	教育委員会一般管理事業						事業コード	100101620501		
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち				政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実			
	施策名	1 地域総ぐるみの教育の場づくりの推進					施策コード	411		
事業担当	所属	600100 教育委員会教育総務課				所属長	濱田 亜希子			
会計情報	款	10教育費	項	01教育総務費	目	01事務局費	会計	01 一般会計	決算附属資料	190・191 頁
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律、福知山市教育委員会基本規則、福知山市教育委員会会議規則									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 本市の教育目標「自分のために 人のために 社会のために 共に幸せを生きる人材の育成」の実現、教育環境の充実を図るため、月1回の開催を基本に教育委員会会議を行い、規則の制定や改廃、当面する教育行政の課題について、議論を行い、議決事項の審議を行っている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 他市教育委員会等との交流、情報交換などを積極的に行い、さらなる教育行政の推進につなげる必要がある。 教育委員会の活動について広く的確に広報する必要がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 教育委員会や教育総務課の運営及び市立小中学校や各教育機関等との連携を行い本市教育の充実を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・教育委員会や教育総務課の運営及び各教育機関等との連携事務 ・外部評価委員により、教育委員会で実施した事業の点検・評価を行い、教育行政の推進に取り組む ・教育委員研修等に積極的に参加し、今日的な課題についての調査・研究を行う ・他市教育委員会（教育長・教育委員）間の交流により情報交換などを行い教育の振興、教育環境の充実を図る
対象者	市立幼稚園・学校 園児・児童・生徒・教職員　　対象者数：6,771　　単位あたりコスト：4.8
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）
委託先・実施主体等	—

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報酬	4,128	教育委員会委員報酬	使用料及び賃借料	2,457	公用車賃貸借料、複合機賃貸借料、積算システム賃借料
報償費	225	事務点検評価委員謝礼、教育委員会表彰用銀盃	備品購入費	23	ネットワークHDD購入
旅費	346	教育長協議会等旅費	負担金補助及び交付金	341	全国都市教育長協議会負担金、近畿都市教育長協議会負担金、講習会受講料等
交際費	106	教育長交際費			
需用費	1,419	燃料費、用度物品購入			
役務費	223	電話料、郵送料、試験手数料、保険料			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	11,072	10,157	9,709	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		11,072	10,157	9,709	
予算財源内訳	① 一般財源	11,072	10,057	9,709	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	100	0	
決算情報	① 流充用額	0	0		
	② 配当予算	11,072	10,157		
	③ 執行額	8,793	9,268		
	④ 執行率	79.4%	91.2%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	2.55 / 1.27	2.40 / 1.52	/	/
	② 概算人件費	23,956	23,456		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		32,749	32,724		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	公用車	物品売払収入	220	32	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	—	—	—	—	—		
	定性的評価	目標値		—	—	—	—	—	
		達成度	%	—	—	—	—		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	36	41	38	39		
	教育委員会会議　議案審議数	当初見込		40	40	40	40	40	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	教育長、教育委員による教育委会議、協議会の実施。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	【定性的評価】 教育委員会会議においては、活発な意見交換や議案等の審議を行い、地域の実情に応じた教育の振興を図ることができた。 他市教育委員会等との交流、情報交換などを積極的に行い、さらなる教育行政の推進に努める。 教育委員会の活動について広く的確に広報する必要がある。
現状の課題に対する改善策	トップページへの優先配置や構成の見直し、掲載情報の整理などホームページへのアクセス向上や情報の届け方を工夫し、教育委員会のホームページで公開した情報を市民が主体的に閲覧し、教育委員会の活動に関心を持つ機会を増やす。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	中学校部活動地域移行検討事業							事業コード	100102620105		
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち					政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実			
	施 策 名	1 地域総ぐるみの教育の場づくりの推進						施策コード	411		
事業担当	所属	600200 教育委員会学校教育課					所属長	松井 美幸			
会計情報	款	10教育費	項	01教育総務費	目	02教育振興費	会計	01 一般会計	決算附属資料	191・192	頁
計画期間	開始年度	令和5年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	—										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☑ その他 （ 国委託金・府委託金 ）										
関連事業	社会人コーチ派遣事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) （3行程度以内）	※事業を実施する背景や事業における現状 少子化による生徒数の減少及び生徒のニーズの多様化、教員の働き方の是正等により、従前と同様の学校部活動の運営維持が困難になっている。
課題 （3行程度以内）	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 市域が広域のため、移動手段をどうするか、また教員に代わり指導する者や、各種目や活動の運営等を担ってもらう団体等の育成・支援等が必要。
事業目的 （5行程度以内）	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 地域における持続可能で、多様なスポーツ・文化芸術環境を整備することにより、生徒がスポーツ・文化芸術に継続して親しむことができる機会と、生徒の多様なニーズに合った部活動機会を確保・充実させる。また、地域展開を進めることにより、教員の働き方改革を促進する。
実施概要 （5行程度以内）	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・福知山市部活動改革検討会議の運営 ・実証事業の実施

対象者	生徒・中学校教職員	対象者数	2,090	単位あたりコスト	6.0
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	一般社団法人 福知山ユナイテッド				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報償費	212	部活動改革検討会議委員謝礼、実証事業指導者報償費			
旅費	63	研修会、検討委員旅費			
需用費	31	事務用品			
役務費	50	ホリデークラブ参加者・指導者保険料			
委託料	3,397	運営事務委託料			
使用料及び賃借料	38	ホリデークラブ施設使用料			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	11,198	7,106	7,733	0
	② 補正予算	△ 4,921	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	6,277	7,106	7,733	
予算財源内訳	① 一般財源	883	1,712	3,736	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	5,394	5,394	1,797	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	2,200	
決算情報	① 流充用額	△ 654	△ 334		
	② 配当予算	5,623	6,772		
	③ 執行額	3,833	3,791		
	④ 執行率	68.2%	56.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	1.02 / 0.65	1.00 / 0.25	/	/
	② 概算人件費	9,980	8,700		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		13,816	12,491		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	京都府運動部活動の地域移行に向けた実証事業	教育費府委託金	2,017	28	
	京都府文化部活動の地域移行等に向けた実証事業	教育費府委託金	448	28	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	回	－	32	68	46		
	部活動地域展開に係る実証事業の実施数	目標値		－	33	76	100	100	
		達成度	%	－	97%	89%	46%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	種目	－	2	7	6		
	部活動地域展開実証種目数	当初見込		－	2	7	15	15	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	部活動地域展開実証事業実施数								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	令和7年度には、部活動改革検討会議を4回開催し、休日部活動の地域展開に向けた現状把握と課題整理を行った。実証事業では、男子バレーボール・剣道を継続、柔道を新規に月2回実施し、陸上・サウンドクリエイトは今後の展開可能性を把握するため試行実施した。吹奏楽は、令和6年度の合同練習を踏まえ、市内吹奏楽部6校による演奏会と合同演奏により発表の場を提供した。あわせて、指導者確保、運営事務委託、基本計画原案の完成により、地域展開に向けた基盤整備を進めた。今後は、令和9年度からの休日の段階的な地域展開に向け、令和8年度中のガイドライン策定が急務である。
現状の課題に対する改善策	・令和9年度からの段階的な休日部活動の地域展開に向け、令和8年度中にガイドラインを策定し、認定基準、施設利用、活動日数・時間、費用負担、移動手段等の具体的な運用ルールを整理する。 ・男子バレーボール・剣道・柔道の実証事業を継続し、参加状況や指導体制、会場、移動等の課題を整理するとともに、協会・連盟等と連携した指導者確保、受け皿団体の育成・支援、民間事業者への運営事務委託の検証を進め、持続可能な運営体制の構築を図る。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	社会人コーチ派遣事業						事業コード	100102620171		
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち				政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実			
	施 策 名	1 地域総ぐるみの教育の場づくりの推進					施策コード	411		
事業担当	所属	600200 教育委員会学校教育課				所属長	松井 美幸			
会計情報	款	10教育費	項	01教育総務費	目	02教育振興費	会計	01 一般会計	決算附属資料	193 頁
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	—									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・種目によっては、競技経験のない教員が顧問となり、部活動指導をしているため、専門的な指導が難しい。 ・全国的に教職員の長時間勤務が問題となっており、部活動に携わる時間を軽減することが必要である。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 顧問に代わって引率等できる部活動指導員の人材確保。 専門的な技術指導ができる外部指導者の人材確保。 平日、土日問わず、指導ができる人材確保及びそのための予算確保。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 【部活動外部指導者】中学校部活動と地域社会との連携を促進し、部活動の競技力や技術力の向上を図る。 【部活動指導員】部活動指導において、教職員と同じ役割を担える人材を配置することで、教職員の指導時間・負担の軽減を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・部活動に対して外部指導者17名、部活動指導員3名を雇用。

対象者	生徒・中学校教職員	対象者数	2,090	単位あたりコスト	2.3	
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	—					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報償費	2,596	部活動外部指導者・部活動指導員報償費			
役務費	35	部活動外部指導者・部活動指導員保険料			

Ⅲ 予算執行状況

区 分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		3,157	3,011	3,003	0
	② 補正予算		0	0	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）			3,157	3,011	3,003	
予算財源内訳	① 一般財源		3,157	3,011	3,003	
	② 国支出金		0	0	0	
	③ 府支出金		0	0	0	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		0	0	0	
決算情報	① 流充用額		178	△ 229		
	② 配当予算		3,335	2,782		
	③ 執行額		3,335	2,631		
	④ 執行率		100.0%	94.6%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.19 / 0.05	0.19 / 0.25	/	/
	② 概算人件費		1,660	2,220		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			4,995	4,851		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	23	23	20	20		
	部活動指導員の配置による顧問の部活動指導時間の負担軽減率	目標値		20	20	20	20	20	
		達成度	%	115%	115%	100%	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	1	3	3	5		
	部活動指導員の配置人数	当初見込		3	3	3	5	9	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	平日・土日に部活動指導員を配置する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	令和7年度は、部活動指導員5人を配置し、バスケットボール2人、剣道1人、ソフトボール1人、陸上1人の各部活動において専門的な指導を実施した。このうち、バスケットボール1人及び陸上1人は令和7年度からの新規配置であり、指導体制の拡充を図った。また、外部指導者については全校に少なくとも1人を配置し、専門的指導の充実、技術面の向上及び顧問教員の負担軽減につなげることができた。一方で、継続的な指導体制を確保するためには、人材確保、予算確保及び部活動地域展開との連携が課題である。
現状の課題に対する改善策	部活動指導員及び外部指導者の配置を継続し、各競技団体や地域人材との連携により、学校現場の実情を理解した指導者の確保に努める。また、必要な予算確保を図るとともに、令和9年度からの休日部活動の地域展開を見据え、社会人コーチ派遣事業で確保した人材を地域展開後の指導体制や受け皿づくりにつなげられるよう、関係団体と連携して検討を進める。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	はばたけ世界へ 中学生短期留学事業					事業コード	100501610108		
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実			
	施 策 名	1 地域総ぐるみの教育の場づくりの推進				施策コード	411		
事業担当	所属	600300 教育委員会生涯学習課			所属長	西村 憲二			
会計情報	款	10教育費	項	05社会教育費	目	01社会教育総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料 205 頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—	R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	—								
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）								
関連事業	—								

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・生徒募集から選考、留学の引率までを教育委員会で担っている。 ・生徒の学習意欲を尊重し、経済的理由で参加を断念することがないよう、生徒の留学費用（移動費用、授業・教材代、滞在費用等）は公費負担とする。また、就学援助又は生活保護受給世帯については、さらに扶助費から渡航経費の補助を行い、負担緩和を図っている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・応募人数に対し、海外留学に参加できる生徒が15人のため留学に参加できない生徒の数の方が多い。 ・令和6年度から応募者全員研修会を実施しているが参加できない生徒にも還元できるような工夫が必要である。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 次代を担う中学生に、広い視野と国際感覚や人権感覚を持ち、新たな価値観や多様性を受け入れ、グローバルな国際社会で未来を切り開くために役立つ短期留学を支援し、国際交流を通じて自らの成長と新たな次のステップに挑戦する契機とする。また、将来的に地域経営のアイデアを有したグローバル人材の育成へとつなげる。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 〇8月に中学2年生15人を対象として、海外留学を実施 4～7月 事前学習会 計4回 開催、8月 海外留学 実施（研修地：カナダ コキットラム等、10日間）、留学報告会 開催 12月 令和8年度 海外留学生徒募集説明会 1～3月 令和8年度 海外留学生徒募集・選考、応募者全員研修会開催

対象者	福知山市内在住かつ福知山市内中学校に在学している2年生	対象者数	700	単位あたりコスト	27.0	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	株式会社ジャルパック、株式会社JTB（令和8年実施分）					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報償費	105	事前学習会講師謝礼、選考謝礼（作文・面接官）			
旅費	117	海外留学引率旅費、引率者費用弁償			
需用費	216	留学生徒募集リーフレット作成、ファイル等購入			
役務費	49	郵送料、浴衣クリーニング代			
委託料	15,277	海外留学業務委託料			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	16,384	17,055	16,100	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		16,384	17,055	16,100	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	8,192	8,527	8,050	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	8,192	8,528	8,050	
決算情報	① 流充用額	△ 87	△ 800		
	② 配当予算	16,297	16,255		
	③ 執行額	15,434	15,764		
	④ 執行率	94.7%	97.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.45 / 0.00	0.39 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	3,600	3,120		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		19,034	18,884		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	はばたけ世界へ中学生短期留学事業（きょうと地域連携交付金）	教育費府補助金	5,649	27	
	はばたけ世界へ中学生短期留学事業基金繰入（ふるさと創生事業基金）	基金繰入金	8,283	35	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	認	15	15	15	15		
	海外留学生徒数	目標値		15	15	15	15	15	
		達成度	%	100%	100%	100%	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	6	1	1	1		
	海外留学生徒募集説明会	当初見込		3	3	1	1	1	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	12月に学校を通じて対象生徒へリーフレットを配布した。同時期にHPや広報カードで周知をはかり、応募を募った。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	○海外留学を通して日本ではできない多くのことを体験し、短期間ではあるが、生徒自身の自立や成長に繋がる機会となった。帰国後は、「長期海外留学を目標にしたい」「成長したコミュニケーション力を発揮していきたい」「将来の職業に役立てたい」など短期留学を契機に今後に向けて大変意欲的な思いを聞くことができた。 ○令和7年度の留学実施で海外留学3回を終えたため、令和5年～7年度留学生徒を対象とした海外留学生徒交流会の実施や、海外留学体験記を作成し、市内小中学校に配布した。 ○2月に実施予定であった応募者全員研修会（2月）は大雪警報発令のため中止し、オンラインで開催したが、異文化やコミュニケーションについて学ぶ機会となり、留学への関心をさらに高める機会となった。 ○令和7年度海外留学生徒による報告会、令和8年度海外留学生徒募集について、中学生の利用数は少ないが児童館や各人権施設にも協力いただくため、説明・周知を行い連携を図った。 ○国際感覚を養うことだけでなく、人権感覚や人権意識を磨くためのプログラムも提供する必要がある。 ○費用削減や留学プログラム・応募者全員研修プログラムの更なる充実をめざし、2月にサウンディング型市場調査を行い、情報収集を行った。
現状の課題に対する改善策	○令和7年度に引き続き、国際感覚を養うことだけでなく、人権感覚や人権意識を磨くために、事前学習会において人権学習を実施する。 ○応募者全員研修プログラムにおいて、留学に行けない生徒に対しても、留学の疑似体験ができるような研修内容を検討する。 ○サウンディング型市場の結果を受けて、費用削減や留学プログラム・応募者全員研修プログラムの更なる充実をめざし、検討する。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	二十歳を祝う会事業							事業コード	100501610301	
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち					政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実		
	施 策 名	1 地域総ぐるみの教育の場づくりの推進						施策コード	411	
事業担当	所属	600300 教育委員会生涯学習課					所属長	西村 憲二		
会計情報	款	10教育費	項	05社会教育費	目	01社会教育総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	206 頁
計画期間	開始年度	昭和26年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	—									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 成人としての自覚をもち、社会の一員として意識する契機となる式典を開催。令和4年4月1日から、成人年齢が18歳に引き下げられたが、福知山市としては名称を「成人式」から「二十歳を祝う会」と改め、対象者は20歳とし、今後も式典時期は現行どおり1月の成人の日の前日に実施する。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 限られた予算の中で、節目を迎える二十歳をふるさとで祝い・激励するために、式典の開催内容について創意工夫を行い、二十歳の記念になるような式典を開催すること。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 青年が次代を担う者としての自覚を高め、社会の一員としての意識を養い、自己の確立に努めることを基本方針とし、その方針を具現化するために成人の日の前日に式典を挙行し、参集した二十歳の方を祝い、激励する。次代を担う対象者を保護者、地域が認め、大人の仲間として改めて受け入れる機会とする。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 〇「令和8年福知山市二十歳を祝う会」開催　令和8年1月11日（日）開催　三段池公園総合体育館　出席者：551人 ・二十歳の主張、学生による吹奏楽演奏映像放映、各中学校による激励横断幕、手話通訳を導入し、ご協力いただき実施した。 ・お祝いイベント実施：式典後、メインアリーナにてお祝いイベントを実施。市ふるさと納税の産品をギフトとして抽選会を行い、ふるさとの魅力を再発見していただく機会を創出。

対象者	式典を実施する年度中に20歳に達する人・保護者・地域住民	対象者数	800	単位あたりコスト	5.5	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	(株)フォールズ(警備)、舞台照明CREW・SOLOOK(音響・照明、動画編集・放映)、(株)街装社(会場設営)、(株)レントオール福知山(暖房機器等搬入設置・撤収)					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報償費	21	手話通訳、要約筆記謝礼			
需用費	112	OHCロール等消耗品、当選ギフト、ちらし印刷			
役務費	73	看板書換料、郵送料、感謝状筆耕			
委託料	826	会場設営業務、音響・舞台照明業務、駐車場・会場付近警備業務、動画編集・放映業務、暖房器具等搬入設置・撤収業務			
使用料及び賃借料	215	三段池総合体育館・公園等使用料、松盆栽借用料			

Ⅲ 予算執行状況

区　分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		1,908	1,625	2,123	0
	② 補正予算		0	0	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）			1,908	1,625	2,123	
予算財源内訳	① 一般財源		1,908	1,625	1,123	
	② 国支出金		0	0	0	
	③ 府支出金		0	0	0	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		0	0	1,000	
決算情報	① 流充用額		81	△ 240		
	② 配当予算		1,989	1,385		
	③ 執行額		1,989	1,247		
	④ 執行率		100.0%	90.0%		
人概工算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.34 / 0.04	0.38 / 0.04	/	/
	② 概算人件費		2,832	3,152		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			4,821	4,399		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	76	81	78	72		
	出席者の割合	目標値		100	100	100	100	100	
		達成度	%	76%	81%	78%	72%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	1	1	1	1		
	二十歳を祝う会開催	当初見込		1	1	1	1	1	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	住民票の有無に関係なく、式典実施対象年度に二十歳を迎える方に向けて広く式典開催を周知し、成人の日の前日に開催している。出席者にとって充実した式典となるよう、限られた予算内ではあるが内容の創意工夫を行う。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	○式典は大きなトラブルもなく多くの対象者の参加（出席者数は従来より8割程度と周辺自治体と比べて高い水準で推移）を得て開催できたことは評価できる。 ○令和8年式典では、式典後にお祝いイベントを実施、継続して市啓発配布物品のペーパーレス化をおこなった。 ○令和8年式典は、悪天候のため、式典終了後、体育館出入口周辺が混雑し、体育館利用者にご迷惑を掛けた。また、のぼり旗、酒類を会場内に持ち込む参加者がおり、従事者等体制を検討する必要がある。
現状の課題に対する改善策	継続的に事業実施を進め、対象者にとって充実した式典となるよう、限られた予算内ではあるが内容の創意工夫をしていきたい。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	地域で支える「地域未来塾」開講事業						事業コード	100501630210		
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち				政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実			
	施 策 名	1 地域総ぐるみの教育の場づくりの推進					施策コード	411		
事業担当	所属	600300 教育委員会生涯学習課				所属長	西村 憲二			
会計情報	款	10教育費	項	05社会教育費	目	01社会教育総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	206 頁
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	—									
事業区分	☐ 法定受託事務	☑ 国府補助事業	☐ 市単独事業	☐ 内部庶務的事業	☐ その他 （ ）					
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 様々な理由や要因により、家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分に身についたりしていない中学生への学習支援を実施する。平成27年度は、モデル事業として桃映中学校で実施、H28年度は、桃映、成和、六人部中の3校で実施。平成29年度は、桃映、成和、六人部、南陵、日新中学校の5校で実施。平成30年度に市内市立全9中学校で実施し、令和8年度は全9中学校実施の9年目となる。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 学習支援員の高齢化に伴い、新たな学習支援員の人材確保が課題となっている。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分に身についていなかったりする中学生に、教員OBなど地域住民の協力による学習の場を提供し、学習習慣の確立と基礎学力の定着、義務教育終了時に必要な学力、高等学校等進学後に必要な学力の獲得を支援する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 〇対象生徒：学習習慣を十分に身につけさせたい中学3年生 〇実施場所：中学校又は学区内の地域公民館等を利用 〇令和7年度実績 市内9ブロック、全市内市立中学校で実施　実施期間：9月上旬から2月下旬まで（週2回、各1時間） 主な実施教科：英語、数学　開講日数：延べ248日　受講生徒数：96人　学習支援員数：延べ82人

対象者	学習習慣を十分に身につけさせたい中学校3年生の生徒	対象者数	647	単位あたりコスト	14.7
実施方法	☑ 直接実施　☐ 業務委託　☐ 指定管理　☐ 補助金交付　☐ その他　（ 分担金支出 ）				
委託先・実施主体等	—				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報償費	4,839	コーディネーター・学習支援員謝礼			
旅費	7	コーディネーター研修旅費			
需用費	398	消耗品費（インク、ファイル、文房具等）、教材代			
役務費	115	コーディネーター・支援員傷害保険料、郵送料			

Ⅲ 予算執行状況

区　分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	5,703	5,952	5,952	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		5,703	5,952	5,952	
予算財源内訳	① 一般財源	2,231	3,709	3,438	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	2,319	2,243	2,514	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	1,153	0	0	
決算情報	① 流充用額	△ 6	0		
	② 配当予算	5,697	5,952		
	③ 執行額	5,204	5,359		
	④ 執行率	91.3%	90.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.37 / 0.02	0.51 / 0.02	/	/
	② 概算人件費	3,016	4,136		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		8,220	9,495		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	地域で支える「地域未来塾」開講事業	教育費府補助金	1,966	27	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	80.7	84.4	88	83.8		
	出席率（受講生徒）	目標値		100	100	100	100	100	
		達成度	%	81%	84%	88%	84%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	校	9	9	9	9		
	開校数	当初見込		9	9	9	9	9	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	受講生徒の選出は中学校に依頼しているが、一定自学自習の力を持ち「未来塾」の支援員の見守りやサポートで学習を進めていける力が必要であり、学校に対しても毎年丁寧な連携や事業の共通理解に対する説明を行う。受講生徒数に応じた学習支援員の人材確保を行い、安定した事業継続を進める。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	○学校・公民館・学習支援員の協力を得て、全ての学校で年間を通して事業を推進することができた。全体の開講日数は従来並みに確保できた。 ○地域の方々が学習支援などに協力いただいたことで、学校以外の学習の場を設け、受講生徒の苦手分野の克服や学習習慣が身に付くよう支援ができた。また、学習の場だけでなく、地域の方々との心地よいやりとりの場や、安心して自分の思いを話せる居場所を提供することもできた。学習支援員として参加する地域の方々からもやりがいを感じるとの意見を得ている。 ○閉講前の受講生徒アンケートにおいても家庭学習の時間が増えたという意見が聞かれた。アンケート結果抜粋：①未来塾参加前と比べて、全体の88%の生徒が勉強する時間が増えたと回答した。②未来塾参加前と比べて、全体の70%の生徒が1日30分以上勉強している日が増えたと回答した。 ○長年お世話になっている学習支援員の高齢化により、支援員の数が減少している。
現状の課題に対する改善策	○地域支援コーディネーターを中心に、事業の周知等や学校・公民館と連携し、学習支援員の人材確保を進める。